

一八九九番

春はるされば 卯うの花はな腐ぐたし 我わが越こえし 妹いもが垣かき間は

荒あれにけるかも

一九〇〇番

梅うめの花はな 咲さき散ちる園そのに 我われ行ゆかむ 君きみが使つかひを

片かた待まちがてり

一九〇一番

藤ふぢ波なみの 咲さく春はるの野のに 延はふ葛くずの 下したよし恋こひば

久ひさしくもあらむ